Wave® Music System III

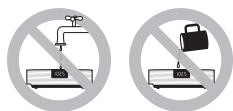
オーナーズガイド

安全上の留意項目

このオーナーズガイドは必ずお読みください

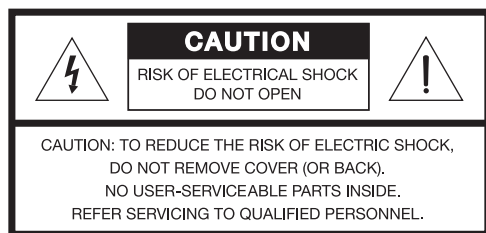
オーナーズガイドの指示に注意し、慎重に従ってください。ご購入いただいたシステムを正しくセットアップして操作し、機能を十分にご活用いただくために役立ちます。また、必要な時にすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。

警告：火災や感電を避けるため、製品を雨にあてたり、湿度のある場所で使用しないでください。

警告：水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。

注意：感電の危険を避けるため、製品を分解しないでください。サービスが必要な際には、必ず資格を持つサービス担当者にお任せください。

CAUTION

RISK OF ELECTRICAL SHOCK
DO NOT OPEN

CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK,
DO NOT REMOVE COVER (OR BACK).
NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.
REFER SERVICING TO QUALIFIED PERSONNEL.

正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。

正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このオーナーズガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることをお客様に注意喚起するものです。

注意：極性プラグを使用する場合、感電を避けるため、電源コードをコンセントにつなぐ際には、プラグの幅が広い方の刃をコンセントの幅が広い方のスロットに差し込んでください。プラグは根元まで完全に差し込んでください。

注意：本書で指定されている以外の方法で製品を操作したり、設定または調整を行うと、製品の内部から危険なレーザーが放出されるおそれがあります。CDプレーヤーの調整または修理は、必ず資格を持つサービス担当者にお任せください。

警告：リモコンの電池は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。リモコンの電池を誤って取り扱うと、火災を起こしたり、化学物質で皮膚を侵される危険性があります。また、分解や充電、焼却を行ったり100度以上の熱を与えないようにしてください。使用済みの電池は速やかに処分してください。交換する場合は、正しい種類と型番の電池を使用してください。

警告：電池を誤って交換した場合、破裂の危険性があります。3VリチウムボタンCR2032またはDL2032に交換してください。

使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。

警告：火の付いたろうそくなどの火気を製品の上や近くに置かないでください。

警告：のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。

注記：製品ラベルは本体下部にあります。

注記：この製品は屋内専用機器です。屋外、RV車内、船上で使用するようには設計されていません。また、このような使用環境におけるテストも行われていません。

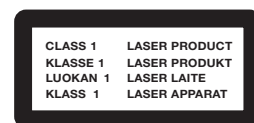
注記：万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。

This product conforms to all applicable EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at www.Bose.com/compliance.

クラス1レーザー製品

このCDプレーヤーは、EN/IEC 60825に基づき、クラス1レーザー製品に分類されています。クラス1レーザー製品のラベルは本体下部にあります。

CLASS 1	LASER PRODUCT
KLASSE 1	LASER PRODUKT
LUOKAN 1	LASER LAITE
KLASS 1	LASER APPARAT

安全上の留意項目

1. **本書をお読みください。**製品の使用前に全体に目を通してください。

2. **必要な時にご覧になれるよう、本書を保管しておいてください。**

3. **製品上およびオーナーズガイドに示されている全ての警告に留意してください。**

4. **すべての指示に従ってください。**

5. **この製品を水や湿気の近くで使用しないでください。**この製品を風呂、洗面台、台所の流し、洗濯桶、湿気のある地下室、プールの近く、その他の水や湿気のある場所では使用しないでください。

6. **お手入れの際には、乾いた布で拭いてください。**ボーズ社の指示に従ってください。お手入れの前に、この製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。

7. **通気孔は塞がないでください。メーカーの指示に従って設置してください。**製品の動作の信頼性を確保し、過熱を防ぐために、設置の際に適切な通気を妨げないでください。例えば、ベッドやソファーの上など、通気孔が塞がれるような場所に置かないでください。本棚やキャビネットなど、通気孔の空気の流れを妨げるような密閉された家具の中には置かないでください。

8. **ラジエータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。**

9. **極性プラグを使用する場合、極性プラグや接地極付きプラグの安全機能を損なうような使い方はしないでください。極性プラグには2つの端子があり、片方の端子がもう一方の端子よりも幅が広くなっています。また、接地極付きプラグには2つの端子に加え、接地用のアース棒が付いています。極性プラグの広い方の端子および接地極付きプラグのアース棒は、お客様の安全を守る機能を果たします。製品に付属のプラグがお使いのコンセントに合わない場合は、電気技師に連絡して新しいコンセントに取り替えてください。**

10. **電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特にプラグやテーブルタップ、装置側の接続部などには注意してください。**

11. **指定されたアタッチメントまたはアクセサリーのみを使用してください。**

12. **製造元の指定する、または製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、または台以外の使用は避けてください。カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には転倒による負傷が起きないよう十分注意してください。**

13. **雷雨時や長期間使用しない場合は、製品の損傷を防ぐため、電源プラグを抜いてください。**

14. **修理が必要な際には、サービスセンターにお問い合わせください。装置に何らかの損傷がある場合、たとえば、電源コードやプラグの損傷、液体や物が装置内に落下した場合、装置に雨や液体がかかった場合、正常に機能しない場合、装置を落とした場合などには、修理が必要です。**本製品を自分で修理しようとしないでください。カバーを開いたり、取り外したりする際、電圧の危害やその他の危険にさらされることがあります。サービスに関しましては、ボーズ株式会社　サービスセンターにお問い合わせください。

15. **火災や感電を避けるため、壁のコンセントや延長コード、テーブルタップなどの定格容量を超える状態で製品を使用しないでください。**

16. **製品に異物が混入したり、液体が浸入しないようにしてください。**異物や液体が電源回路に触れてショートすると、火災や感電の原因となる恐れがあります。

17. **製品本体の安全に関する表示を参照してください。**

18. **適切な電源を使用してください。**取扱説明書または製品本体の表示に従い、製品の電源プラグを適切な電源に差し込んでください。

19. **屋外アンテナを設置する場合は、電線に触れないように十分に注意してください。**アンテナが電線に触れると感電する恐れがあります。また、アンテナが倒れて接触しないよう、屋外の電線や電柱、街灯などの付近にアンテナを設置しないでください。

20. **屋外アンテナやケーブルを機器に接続する場合は、必ずアースを取り付けてください。**サージ電流や静電気による障害から機器を保護するために役立ちます。National Electrical Code ANSI/NFPA No. 70 の810 項には、アンテナ用マストと支持部材の適切な接地方法、アンテナ放電ユニットの接地、アース電極のサイズ、アンテナ放電ユニットの設置場所、アース電極の接続方法、およびアース電極の要件に関する情報が記載されています。アンテナにアースを取り付ける方法は、次ページの図を参照してください。

Information about products that generate electrical noise

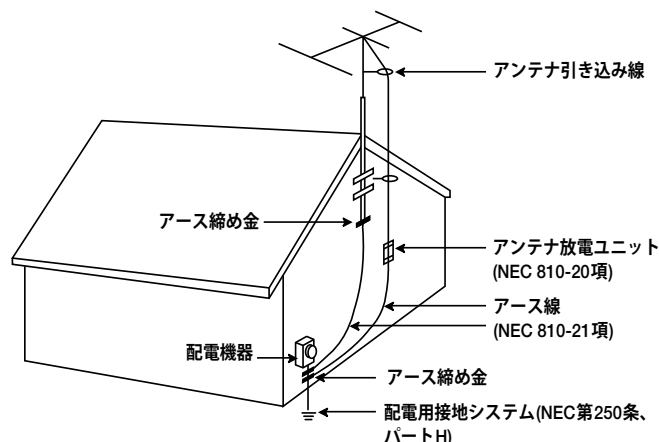
If applicable, this equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, this is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, you are encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than the one to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Note: Unauthorized modification of the receiver or radio remote control could void the user's authority to operate this equipment.

This product complies with the Canadian ICES-003 Class B specifications.

アンテナにアースを取り付ける方法

National Electrical Code ANSI/NFPA 70 に基づいて、アンテナにアースを取り付ける方法の例

製品データ記録機能

Wave® music system IIIには、ボーズ社が製品の使用状況とパフォーマンスを継続的に確認するために設計した、製品データ記録機能が搭載されています。製品データ記録機能では、音量レベル、電源オン／オフ、ユーザー設定、入力機器、電圧出力、セットアップデータ、およびその他の技術データや使用履歴が記録されます。これらのデータは、お使いのWave® music system III に対してより良いサービスとサポートを提供するとともに、今後の製品設計を向上する目的で使用します。製品データ記録機能で保存されるデータを解読するには特殊な装置が必要であり、お客さまがWave® music system III のサービスをボーズ社に依頼するか、製品を返品された場合にのみ、ボーズ社でこれらのデータを回収することができます。製品データ記録装置では、お客さまを特定できる個人情報や、Wave® music system IIIを使用してお楽しみいただいたメディアの内容(タイトル、ジャンルなど)に関する情報は、一切記録されません。

製品情報の控え

控えとして、Wave® music system IIIのシリアル番号を下の欄にご記入ください。シリアル番号は製品の底面に記載されています。

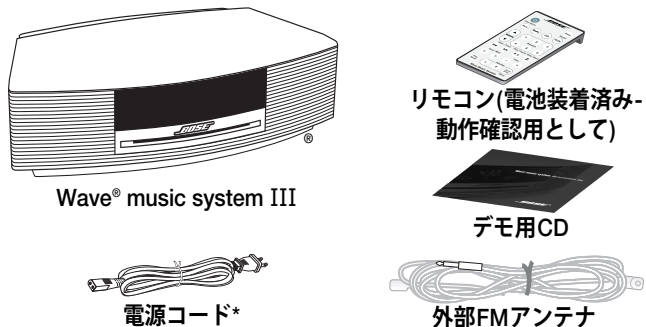
シリアル番号 ________________________________

購入日 ____________________________________

このガイドとともに、ご購入時の領収証と保証書を保管することをお勧めします。

目次

付属品の確認

箱の中に次の付属品があることを確認してください。

*付属の電源コードは購入された国によって異なります。

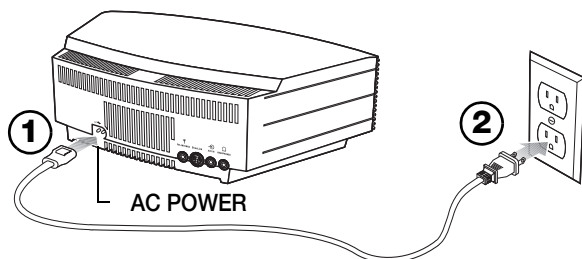
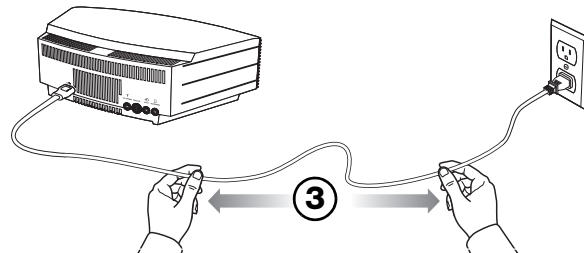
設置場所の選択

- Wave® music system IIIは、テーブルなどの平坦な場所に設置してご使用ください。
- Wave® music system III の正面で聴くほうが、より良い音響効果が得られます。
- 最適な音響パフォーマンスを得るために、Wave® music system III は壁からおよそ60cm以内に近付けた場所に設置することをお勧めします。また、部屋の角に設置することは避けてください。

注記:

- Wave® music system IIIを金属面の上に設置しないでください。AMラジオの受信感度が低下することがあります。
- 他の電子機器と同様、Wave® music system IIIは内部から多少の熱を発しますので、熱に弱い物の上や近くに設置しないでください。
- Wave® music system IIIを湿気の多いところや水分のかかり易いところに設置しないでください。

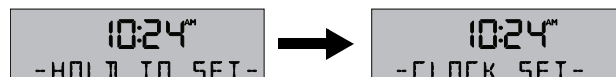
電源の接続

1. Wave® music system IIIの背面の**AC POWER**コネクターに電源コードを差し込みます。
2. 電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込みます。

3. FM ラジオを最適な状態で受信するため、電源コードをほどき、まっすぐに伸ばしてご使用ください。Wave® music system IIIは、電源コードをFMアンテナとして使用します。

現在時刻の設定

Wave® music system IIIに電源を接続した後、リモコンで現在時刻を設定します。Wave® music system III はリモコンを使って簡単に操作できます。リモコンをディスプレイに向け、ボタンを押してください。

1. 2つの[**Time**]ボタンのどちらかを1秒以上長押しします。

注記：ボタンを長押しする場合は1秒以上押し続けてください。

最初にディスプレイに「**HOLD_TO_SET**」と表示され、すぐに「**– CLOCK SET –**」に変わります。

2. [**Time**]ボタンを離します。
3. [**Time –**]ボタンを押すと時計が戻り、[**Time +**]ボタンを押すと時計が進みます。ボタンを操作して、現在時刻に合わせてください。ボタンを長押しすると時計が速く動きます。
4. ボタンを離して5秒経過すると、最後に表示された時刻に設定されます。

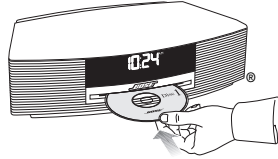
注記:

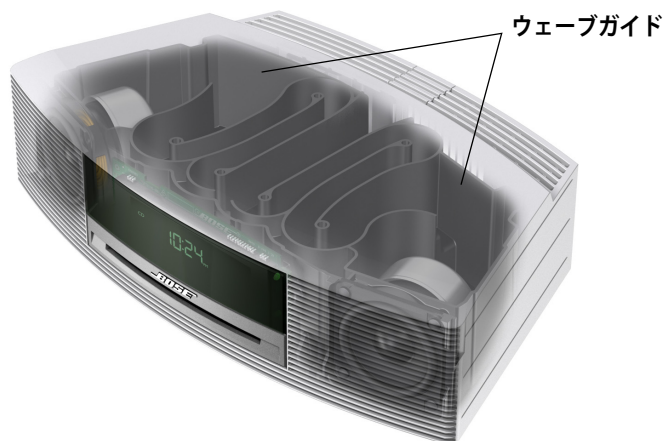
- 時計の12時間表示(AM/PM表示)と24時間表示を変更する方法は、18ページの「時刻表示形式を変更する」をご覧ください。
- 停電や電源ケーブルの取り外しなどでWave® music system IIIに電源が供給されなくなっても、システムの設定は保存されています。ただし、設定した時刻は48時間経過するとバックアップメモリーから消去されます。

はじめに

この度はBose® Wave® music system III をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機は、どのお部屋でもお気軽に高音質の音楽をお楽しみいただけるシステムです。

デモ用CD

まず最初に、付属のデモ用CDの音楽をお楽しみください。デモ用CDをWave® music system III の前面スロットに差し込むと、CDが自動的に再生されます。CDの再生方法の詳細については、11 ページの「オーディオ CD の再生」をご覧ください。

永年の研究から生まれた高音質

本機には、ボーズ社の14年以上にわたる研究成果が結実した独自技術、「ウェーブガイド・スピーカー・テクノロジー」が搭載されています。これは、本体に内蔵された共鳴管(ウェーブガイド) によって小型スピーカーの空気振動を大きな音響エネルギーに変換し、広がりのある重低音を再現する技術です。どんなインテリアにも調和するコンパクトなデザインを損なわないよう、ウェーブガイドは複雑に折りたたまれ、本体に収められています。Wave® music system III に内蔵されている2 本のウェーブガイドの長さは合計132 cmにも及び、このサイズで大型スピーカーを凌ぐ重低音を再現します。

便利な機能

お気に入りのラジオ放送やCDの音楽でお目覚め

Wave® music system III で好きなラジオ番組や CD の再生を予約して、目覚ましのアラームにすることができます。詳しくは、13 ページの「アラームを設定する」をご覧ください。

MP3 CDの再生が可能

CD
10:24 AM
MOZART STRI 1:24

Wave® music system IIIは、CD-RやCD-RWに保存されたMP3ファイルも再生できます。リモコンの操作により、お気に入りの MP3 ファイルを簡単に見つけ出し、再生することができます。詳しくは、11 ページの「MP3 CDの再生」をご覧ください。

セットアップメニューで自分好みの設定に

CD
10:24 AM
-SETUP MENU-

Wave® music system IIIの機能は、多くのお客様にそのままお使いいただける状態に初期設定されています。設定を変更する方法については、17 ページの「Wave® Music System III の設定」をご覧ください。

セットアップメニューで、次の項目をお好みの状態に設定する事ができます。

- スヌーズ時間の変更
- RDS情報のオン／オフ(日本では使用しません)
- CDからラジオへの自動切り替え
- 12時間／24時間表示の切り替え
- 表示部の明るさ調整
- Bose® Linkのルームコード(日本では使用しません)
- タッチセンサーのオン／オフ
- 省エネモードのオン／オフ
- 工場出荷状態へのリセット

リモコン

Wave® music system III はリモコンを使って簡単に操作できます。リモコンをディスプレイに向け、ボタンを押してください。リモコンの到達距離は、およそ6 mです。

注記:

- ボタンを長押しする場合は1秒以上押し続けてください。
- [**RADIO**]、[CD]、または[**AUX**] ボタンを押すと、そのソースを選択した状態でWave® music system IIIの電源がオンします。

Radio (ラジオ)ボタン

- ラジオを選択します。
- 押すたびにFM、AMが切り替わります(10 ページ)。

電源ボタン(アラームの停止)

- システムの電源をオン／オフします(9 ページ)。
- アラーム音を停止します(14 ページ)。

Mute (ミュート)ボタン

- 一時的に消音します(9 ページ)。
- もう一度押すと音量が元に戻ります。

Volume (音量）ボタン

- 音量を上下に調節します(9 ページ)。

Seek / Track (シーク／トラック)ボタン

- 1回押すと、十分受信できる強さの電波の放送局を自動的に選局します(10 ページ)。または、CDの再生トラックを前後に移動します(11 ページ)。
- 長押しすると、ラジオの周波数を前後にスキャンして、十分受信できる強さの電波の放送局を選局します(10 ページ)。または、CDの再生トラックを前後にすばやく移動します(11 ページ)。

Tune / MP3 (選局／MP3)ボタン

- 1回押すと、ラジオの周波数を前後に移動します(10 ページ)。または、MP3 CDのフォルダを移動します(11 ページ)。
- 長押しすると、ラジオの周波数を前後にすばやく移動します(10 ページ)。または、再生中のCDのトラックを早送り／巻き戻しサーチします(11 ページ)。

Play Mode (プレイモード)ボタン

- CDの再生モード(シャッフル／リピート)を選択します(11 ページ)。
- AM/FM ラジオを聴いているとき、トークラジオモードのオン／オフを切り替えます(10 ページ)。

CD ボタン

- CDプレーヤーをオンにします(11 ページ)。

Alarm 1 (アラーム1)ボタン

- アラーム 1 のオン／オフを切り替えます。

Alarm 2 (アラーム2)ボタン

- アラーム2のオン／オフを切り替えます。

Sleep Buzzer (スリープ／ブザー) ボタン

- アラーム音をスヌーズします(14 ページ)。
- システムの電源を10～90分後に自動的にオフにします(9 ページ)。
- アラーム設定でアラーム音を選択します(13 ページ)。

AUX　(外部入力切替)ボタン

- AUX IN に接続された機器を聴くときにこのボタンを押します(15 ページ)。

Presets (プリセット)ボタン

- 1回押すと、登録した放送局が呼び出されます(10 ページ)。
- 長押しすると、そのボタンにラジオの放送局を登録できます(10 ページ)。

Play / Pause (再生／一時停止)ボタン

- CDを再生します(11 ページ)。
- 再生中のCDを一時停止します(11 ページ)。

Stop / Eject (停止／イジェクト)ボタン

- 1回押すと、CDを停止します(11 ページ)。
- もう1回押すと、CDを取り出します(11 ページ)。

Time (時刻)ボタン

- 時計の時刻をセットします(6 ページ)。
- アラームの時刻をセットします(13 ページ)。

Alarms (アラーム)ボタン

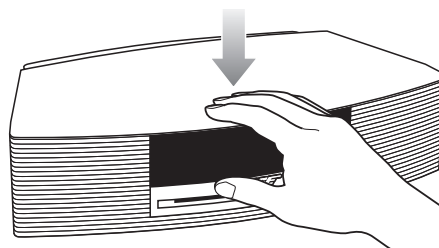
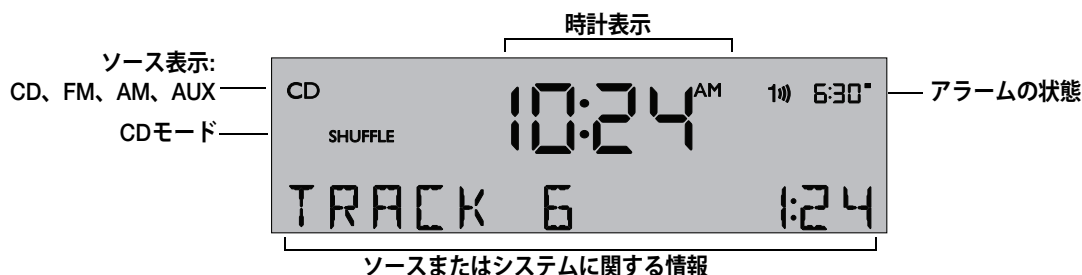
- アラームの設定と操作を行います(13 ページ)。

Alarm Setup / Menu (アラームの設定／メニュー)ボタン

- 長押しすると、システムセットアップメニューに移行します(17 ページ)。

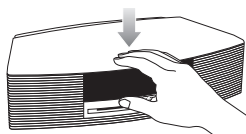
タッチセンサー

Wave® music system IIIは、本体の上部手前部分にタッチセンサーを内蔵しています。

タッチセンサーに手を触れることにより、Wave® music system IIIの電源のオン／オフ(9 ページ)、アラーム音のスヌーズ、目覚ましのリセット(14 ページ)などの操作が行えます。

ディスプレイの表示

Wave® music system IIIの電源操作

電源のオン／オフ(スタンバイ)を切り替えるには

- リモコンの電源ボタン を押します。または、
- タッチセンサーに手を触れます。

  最後に再生していたソースが有効になります。

その他の方法

ソースボタンを押すことにより、そのソースを選択した状態でWave® music system IIIの電源がオンします。

注記：[**AUX**]ボタンを押しても、AUX INに接続されている外部機器(テレビなど)の電源はオンになりません。外部機器の電源を先にオンにしてください。

注記：ボタン操作を行わずに24時間が経過すると、本体は自動的にスタンバイ(オフ)となります。30分スタンバイタイマー(19ページ)がオンの場合、音が再生されずかつボタン操作が行われない期間が30分間続くと、自動的にスタンバイとなります。

音量を調節する

音量を調節するには、[**Volume**] ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押します。「**VOLUME - 0**」(最小レベル)から「**99**」(最大レベル)までの音量がディスプレイに表示されます。

[**Mute**]ボタンを押すと、Wave® music system IIIの音が一時的に止まります。解除するには[**Mute**]ボタンをもう一度押すか、[**Volume**] ▲ ボタンを押します。

ミュート中に[**Volume**] ▼ ボタンを押して音量を下げておくこともできます。

注記：Wave® music system IIIの電源がオフの場合でも、音量を10～75の間で調節しておくことができます。

スリープタイマーの設定

[**Sleep**]ボタンを押すと、設定した時間が経過した後にWave® music system IIIが自動的にオフになります。

- [**Sleep**]ボタンを押して、ディスプレイに「**SLEEP - 30 MIN**」(または設定した時間)の表示が現れると、カウントダウンが始まります。Wave® music system III が電源オフの状態で[**Sleep**] ボタンを押すと、電源がオンとなり、スリープタイマーがすぐに有効になります。タイマーのカウントダウンが始まると、最後に選択していたソースが再生されます。
- ディスプレイに「**SLEEP**」が表示されているときに [**Sleep**] ボタンをもう一度押すと、スリープタイマーを10～90分の間(10分間隔)で変更したり、タイマーをオフにしたりできます。

注記：スリープタイマーの設定中に10秒間ボタン操作を行わないと、Wave® music system III は自動的にスリープタイマーのセットアップモードを終了します。

- スリープタイマーの残り時間を確認するには、[**Sleep**]ボタンを押します。
- スリープタイマーを解除するには、**電源**ボタンを押します。

FM/AMラジオを切り替える

[**Radio**]ボタンを押すとラジオの電源がオンし、最後に選択されていた放送局を受信します。[**Radio**]ボタンを押すたびに、FMとAMが切り替わります。

FM/AMラジオを聴く

FMラジオを選択すると、現在の放送局の周波数がディスプレイ上に表示されます。18 ページRDS 情報のオン／オフ設定は、日本では使用しません。

RDS情報が表示されている状態(RADIO TEXT- ON)

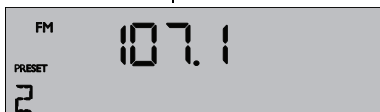
RDS情報(日本では表示されません)

RDS情報が表示されていない状態(RADIO TEXT- OFF)

放送局の周波数

FM/AMラジオの放送局を選ぶ

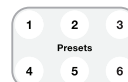
[**Radio**] ボタン、[**Seek/Track**] ボタン、または [**Tune/MP3**] ボタンを押すと、ラジオの放送局が選択され、選択した放送局の周波数がディスプレイの中央に表示されます。

選局している放送局の周波数

- [**Seek/Track**] ⏮ ボタンを押すと、低い周波数側で十分受信できる電波の強さを持つ放送局を自動的に探します。[**Seek/Track**] ⏭ ボタンを押すと、高い周波数側で十分受信できる電波の強さを持つ放送局を自動的に探します。

- 低い周波数側の放送局を手動で選局するには、[**Tune/MP3 <**] ボタンを押します。高い周波数側の放送局を手動で選局するには、[**Tune/MP3 >**]ボタンを押します。
- [**Tune/MP3 <**] ボタンを長押しすると、低い周波数側にすばやく移動します。[**Tune/MP3 >**] ボタンを押すと、高い周波数側にすばやく移動します。

注記：AM ラジオの受信状態がよくない場合は、Wave® music system III 本体の向きを左右に回すと、改善されることがあります。FM ラジオの受信状態がよくない場合は、電源コードがまっすぐになっているかどうかを確認してください。FMラジオの受信状態を改善するには、外部FMアンテナを接続する方法があります。16 ページの「外部アンテナを使用する」をご覧ください。

FM/AM ラジオ放送局をプリセットに登録する

FMラジオとAMラジオの放送局をそれぞれ6つまで登録し、[**Presets**] ボタンですばやく呼び出すことができます。

1. プリセットに登録する放送局を選局します。
2. 6つの [**Presets**] ボタンのいずれかを、ビープ音が2回聞こえ、プリセット番号と放送局の周波数がディスプレイに表示されるまで長押しします。
3. [**Presets**] ボタンのいずれかを押すと、登録されたFM/AMラジオの放送局がすばやく選局されます。

注記：同じボタンに別の放送局を登録すると、以前登録した放送局に上書きされます。

トークラジオモード

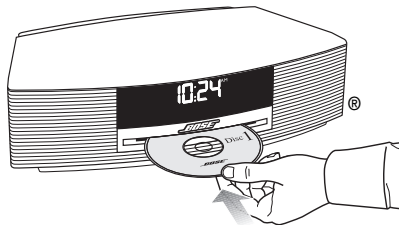
一部のラジオ放送局では、トーク番組やニュース番組でマイクの設定や音声周波数の調整により、低音が強調されている場合があります。これは、一般的なラジオ機器でアナウンサーなどの声を聴き取りやすくするための「トークラジオ」という機能です。高音質のオーディオ製品では、この番組を再生すると音が不自然に聞えたり、低音が誇張されたりする場合があります。TALK RADIO モードをオンにすると、低音が強調された番組の音声を聴き取りやすくするように、Wave® music system IIIが自動的に音質を調整します。

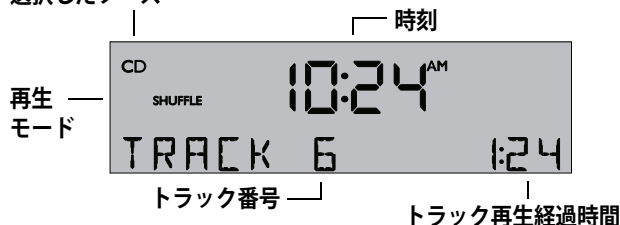
ラジオを聴いているときに [**Play Mode**] ボタンを2回押すと、トークラジオモードのオン／オフが切り替わります。

トークラジオモードがオンの場合は、「**TALK RADIO– ON**」と表示されます。オフの場合は、「**TALK RADIO– OFF**」と表示されます。

注記：別の放送局に切り替えたり、ソースを変更したり、Wave® music system III の電源をオフにしたりすると、トークラジオモードは自動的にオフになります。

オーディオCDの再生

レーベル面を上にして、ディスプレイの下のスロットにディスクを差し込みます。ディスクが自動的にスロットに引き込まれ、再生が始まります。

CDソースが選択されていない場合は、[**CD**] ボタンを押します。

- オーディオCDの再生中は、CDソースの情報が表示されます。

- [**Play/Pause**] ボタンを押すと、再生中のCDが一時停止します。一時停止中は、経過時間表示が点滅します。[**Play/Pause**] をもう一度押すと、再生が再開されます。

- [**Seek/Track** ⏮] ボタンを押すと、再生中のトラックの先頭へスキップします。[**Seek/Track**] ⏮ ボタンをもう一度押すと、前のトラックの先頭へスキップします。

- [**Seek/Track**] ⏭ ボタンを押すと、次のトラックへスキップします。
- [**Tune/MP3 <**] ボタンを長押しすると、再生中のトラックを巻き戻しサーチします。[**Tune/MP3 >**] ボタンを押すと、再生中のトラックを早送りサーチします。

- [**Stop/Eject**] ボタンを押すとCDを停止します。[**Stop/Eject**] ボタンをもう一度押すとCDが取り出されます。CDの再生中に [**Stop/Eject**] ボタンを長押しすると、CDが停止してからディスクが取り出されます。

注記：再生を停止したCDをもう一度再生すると、停止した箇所から再生が再開されます。

注記：取り出したCDを10秒以内にスロットから取り除かないと、そのCDはプレーヤーに引き込まれて、もう一度読み込みが行われます。

注意：8 cm CDや円形でないCDをプレーヤーに差し込まないでください。このようなCDは正しく再生されないだけではなく、取り出せなくなる場合があります。

CD再生モード

CDを再生中に、再生方法を変更することができます。[**Play Mode**]ボタンを何回か押し、次の再生モードを表示して選択します。

- NORMAL PLAY – トラックを順番に1回だけ再生します。
- SHUFFLE DISC – すべてのトラックをシャッフルして1回だけ再生します。
- SHUFFLE RPT CD – すべてのトラックをシャッフルして繰り返し再生します。再生順は毎回変わります。
- REPEAT DISC – 最後のトラックの再生が終わったら最初に戻って繰り返し再生します。
- REPEAT TRACK – 再生中のトラックを繰り返し再生します。

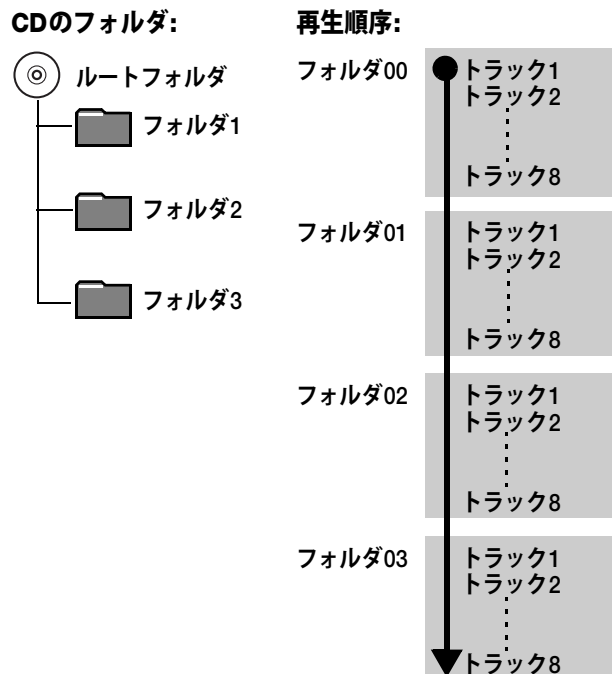
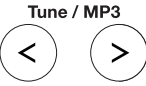
注記：CDをセットするたびに、再生モードはNORMAL PLAYに戻ります。

MP3 CDの再生

Wave® music system IIIは、CD-RやCD-RWに保存されたMP3ファイルも再生できます。リモコンの[**Tune/MP3**] ボタンと[**Seek/Track**] ボタンを使用して、ファイルを探すことができます。

注記：MP3は、音質に著しい影響を与えずに音楽ファイルのサイズを小さくすることができる圧縮技術です。この圧縮技術を使用してMP3形式で音楽ファイルを保存すると、通常のオーディオCDの何倍もの曲をディスクに保存できます。1枚のMP3 CDには、標準的なオーディオCDの約10倍の曲を保存できます。ディスクに保存する曲は、コンピューターでフォルダに分類することができます。

MP3 CDに保存されている音楽ファイルは、フォルダ構造にしたがって再生されます。

例:

MP3 CDの再生、一時停止、取り出しの操作は、オーディオCDと同様にリモコンを使用して行います。11 ページの「オーディオCDの再生」をご覧ください。

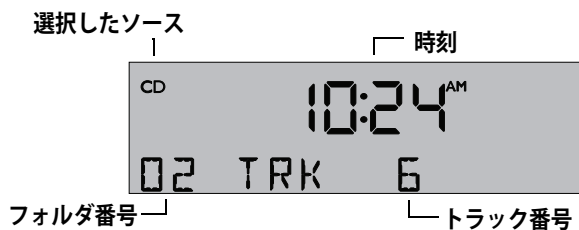
CDに保存されている音楽ファイルにアーティスト名と曲名が付けられていれば、Wave® music system IIIでそれらの情報が表示されます(日本語非対応)。

注記：MP3 CDの音質は、圧縮時のビットレート、サンプリングレート、使用したエンコーダーの種類によって変わります。Wave® music system IIIは、圧縮時のビットレートが64kbps以上、またサンプリングレートが32kHz以上のMP3 CDに対応していますが、ビットレートは128kbps以上、サンプリングレートは44.1kHz以上のディスクを使用することをお勧めします。

注記：CD-RやCD-RWに記録された音楽ファイルの音質は、ディスクに保存したときの記録方法と使用したソフトウェアによって変わります。不適切な記録状態のオーディオCDを再生すると、システムが正常に動作しない場合があります。

音楽ファイルの操作

- [**Tune/MP3 <**]ボタンを押すと前のフォルダに移動し、[**Tune/MP3 >**]ボタンを押すと次のフォルダに移動します。

- [**Seek/Track**] ⏮ ボタンを押すと、再生中のトラックの先頭へスキップします。[**Seek/Track**] ⏮ ボタンをもう一度押すと、前のトラックの先頭へスキップします。
- [**Seek/Track**] ⏭ ボタンを押すと、次のトラックへスキップします。
- MP3 CDを操作している間、フォルダ番号とトラック番号が表示されます。

注記：ルートフォルダのフォルダ番号は00と表示されます。

トラックを再生すると、アーティスト名、曲名、再生経過時間がディスプレイに表示されます(日本語非対応)。

MP3 CDの再生モード

MP3 CDを再生中に、再生方法を変更することができます。[**Play Mode**]を何回か押して、次の再生モードを表示して選択します。

- NORMAL PLAY – トラックを順番に1回だけ再生します。
- SHUFFLE DISC – すべてのトラックをシャッフルして1回だけ再生します。
- SHUFFLE FLDR – 選択したフォルダ内のすべてのトラックをシャッフルして再生します(MP3のみ)。
- SHUF RPT FDR – フォルダ内のすべてのトラックをシャッフルして繰り返し再生します。再生順は毎回変わります(MP3のみ)。
- SHUFF RPT CD – ディスク内のすべてのトラックをシャッフルして繰り返し再生します。再生順は毎回変わります。
- REPEAT DISC – ディスク内のすべてのトラックを順番に繰り返し再生します。
- REPEAT FOLDR – フォルダ内のすべてのトラックを繰り返し再生します(MP3のみ)。
- REPEAT TRACK – 再生中のトラックを繰り返し再生します。

注記：CDをセットするたびに、再生モードはNORMAL PLAYに戻ります。

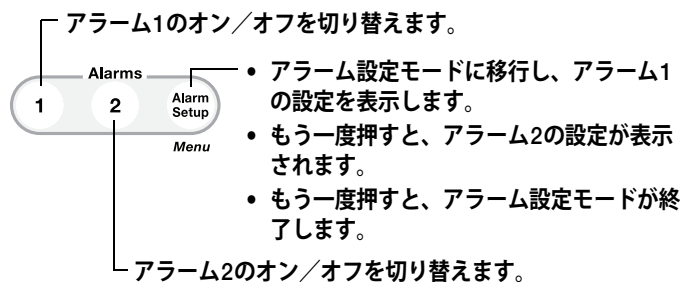
はじめに

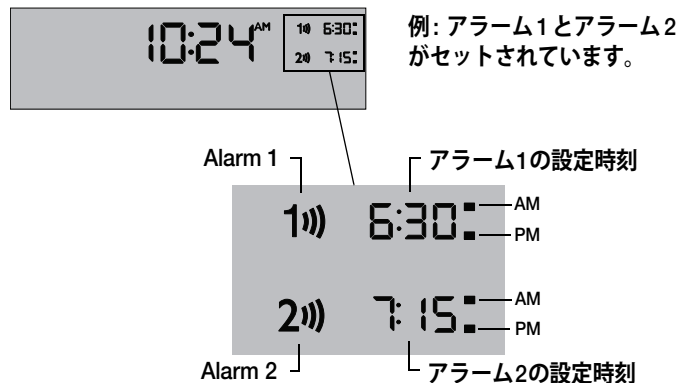
Wave® Music System IIIでは、**アラーム1**と**アラーム2**に別々のアラームを設定できます。

アラームには次の情報を設定できます。

- 時刻
- アラーム音の種類(ブザー音、ラジオ、CD)
- 音量

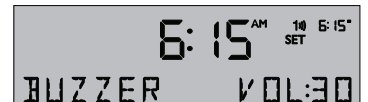
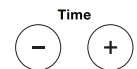
[Alarms]ボタンの使い方

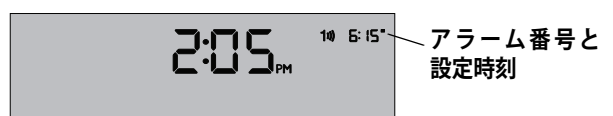
アラームの設定と操作には、リモコンの一番下にある[**Alarms**]ボタンを使用します。

アラーム表示

アラームがセットされている場合、ディスプレイの右上にアラームの状態が表示されます。

アラームを設定する

アラームの設定を変更するには、アラーム設定モードを有効にして、ディスプレイにアラームの設定を表示します。

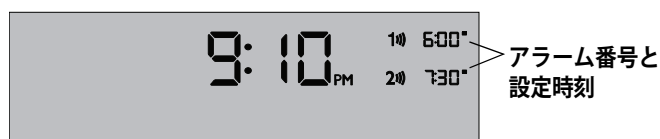
アラーム1/2を設定するには、次の操作を行います。

1. [**Alarm Setup**]ボタンを押してアラーム設定モードに移行し、アラーム1の設定を表示します。

2. [**Time**] ボタンでアラームの時刻を設定します。 Time − +
3. アラーム音を選択します。
   - ブザー音を再生する場合は[Buzzer] Sleep Buzzer ボタンを押します。
   - ラジオを再生する場合は Radio ボタンを押します。
   - CDを再生する場合は CD ボタンを押します。
4. [**Volume**] の上下ボタンを押して、選択したアラーム音の音量を調節します。

5. Alarm Setup ボタンを押すとアラーム2の設定に移行します。手順2〜4を繰り返して、アラーム2を設定します。
6. もう一度 Alarm Setup ボタンを押すと、アラーム設定モードが終了します。

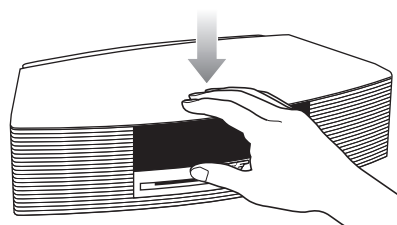
   設定したアラームがオンになり、アラームの時刻がディスプレイに表示されます。

アラームを使用する

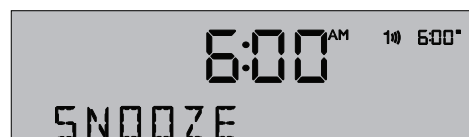
アラームのオン／オフを切り替える

1 ボタンまたは 2 ボタンを押すと、それぞれのアラームのオン／オフが切り替わります。

アラームがオンの場合、ディスプレイの右上にアラーム番号と時刻が表示されます。

アラームのスヌーズを使う

アラームが鳴っているときにスヌーズを使うには

タッチセンサーに手を触れます。

または、Sleep ボタンを押します。

SNOOZE がディスプレイに表示され、あらかじめ設定した時間が経過するとアラーム音がもう一度鳴ります。

出荷時には、スヌーズ時間が 10 分に設定されています。スヌーズ時間は20分、30分、40分、50分、60分のいずれかに変更できます。18 ページの「スヌーズ時間を調整する」を参照してください。

スヌーズを解除するには

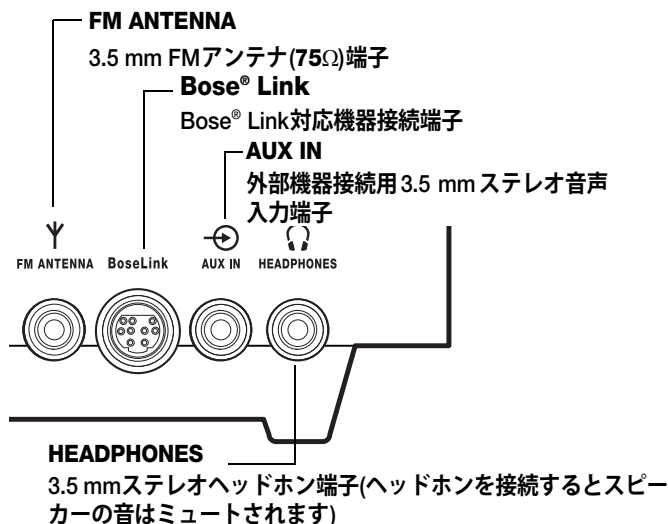
スヌーズが設定された状態で、もう一度タッチセンサーに触れて 2 秒以上手を置いたままにするか、電源ボタン Stop Alarm を押します。

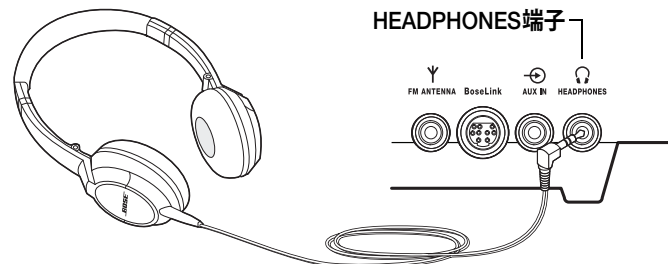
アラーム音を停止する

アラーム音を停止するには、Stop Alarm ボタンを押します。

この方法でアラーム音を停止すると、翌日の同時刻にアラーム音が鳴ります。

リアパネルの入出力

Wave® music system IIIのリアパネルには、外部機器を接続するための端子があります。

ヘッドホンを使用する

音楽などをヘッドホンで楽しむには、Wave® music system IIIのリアパネルにあるヘッドホン端子にヘッドホンを接続します。

(ヘッドホンは別売です)

ヘッドホンを接続すると、スピーカーの音が自動的にミュートされます。

注意：大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間に渡るヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。

注記：Wave® music system IIIからヘッドホンを抜くと、スピーカーの音が自動的に元に戻ります。ヘッドホンの音量は、スピーカーの音量とは異なります。思わぬ大音量での再生を避けるため、ヘッドホンを接続したり、抜いたりする前に、Wave® music system IIIの音量を下げてください。

注記：ヘッドホンを接続していても、アラームの設定時刻になるとWave® music system IIIのスピーカーからアラーム音が鳴ります。

ヘッドホンの音量を調節するには

[**Volume**] ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押して、ヘッドホンの音量を調節します。

AUX IN端子を使用する

Wave® music system IIIをテレビ、DVDプレーヤー、コンピューター、ゲーム機などと接続すれば、より豊かで迫力ある高音質でお楽しみいただく事ができます。

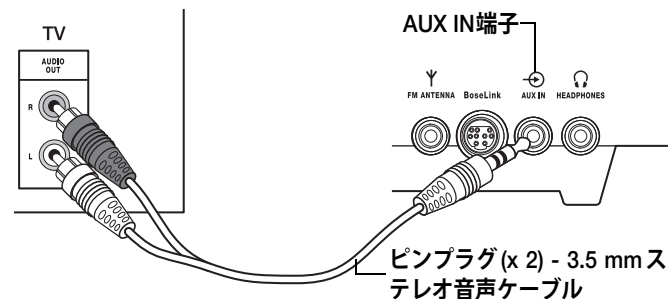
外部機器をWave® music system IIIに接続するには、以下のいずれかのケーブルを別途お求めください。

- 3.5 mmステレオ音声ケーブル(オスーオス)

- ピンプラグ(x 2) - 3.5 mmステレオ音声ケーブル

ケーブルに関するご不明な点は、ボーズ株式会社ユーザーサポートセンターにお問い合わせいただくか、お近くの電気店にお尋ねください。ユーザーサポートセンターの連絡先については、日本語オーナーズガイドの最後の「お問い合わせ先」をご覧ください。

テレビなどの外部機器を Wave® music system III に接続するには

1. ステレオ音声ケーブルの一方を、外部機器の出力端子に接続します。

2. ケーブルのもう一方を、Wave® music system IIIのリアパネルにある**AUX IN**端子に接続します。
3. AUX ボタンを押すと、Wave® music system IIIの電源がオンになって外部入力に切り替わります。

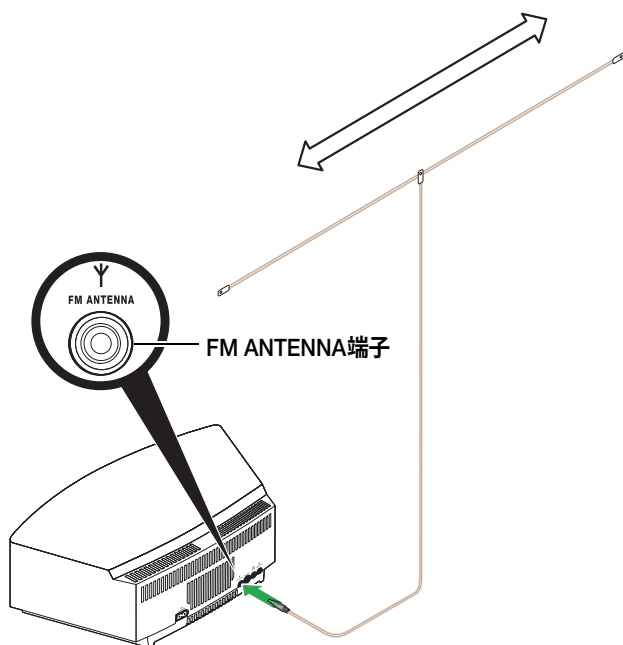
注記：Wave® music system III に Bose® Link 機器が接続されている場合は、[AUX] ボタンを押すたびに、AUX入力機器と Bose Link入力機器が切り替わります。

4. 音量を調節するには、[**Volume**] ▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押します。

注記：Wave® music system III の音量を最大にしても音が小さ過ぎる場合は、接続した外部機器の音量を上げてください。

外部アンテナを使用する

Wave® music system IIIは、電源コードをFMアンテナとして使用します。電源コードの位置を調整しても受信状態が改善されない場合は、付属の外部FMアンテナを取り付けてください。

1. FMアンテナの3.5 mmプラグを**FM ANTENNA**端子に接続します。
2. 良好な状態で受信するには、アンテナを本体や外部機器からできるだけ離れた位置まで伸ばし、アンテナ線の両端をぴんと張って水平にしてください。

注記：多くのFMラジオ放送局では、水平方向だけではなく垂直方向にも電波を送信しています。アンテナ線を水平方向に張っても受信状態が良くならない場合は、垂直方向に張ってみてください。

Lifestyle® systemに接続する

本機能は日本では使用しません。

Wave® music system IIIの機能は、多くのお客様にそのままお使いいただける状態に初期設定されています。設定を変更する場合は、以下のページを参照して、手順に従ってください。

セットアップメニュー

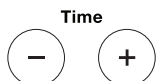
セットアップメニューから、Wave® music system IIIの操作方法を設定できます。

システム設定	メニュー項目	工場出荷時の設定	選択可能な設定	説明
スヌーズ時間	**SNOOZE-**	**10 MIN**	**10 MIN、20 MIN、 30 MIN、40 MIN、 50 MIN、60 MIN**	スヌーズ時間(分)を設定します。
Radio Data System (RDS)情報	**RADIO TEXT-**	**ON**	**ON、OFF**	本機能は日本では使用しません。
連続再生	**CONT PLAY-**	**NO**	**NO、AUX、FM、 AM、DAB**	CDの再生が終了した後に自動的に再生されるソースを選択します。
時刻表示形式	**TIME-**	**12 HOUR**	**12-HOUR、24-HOUR**	時刻を12時間表示(AM/PM)または24時間表示に切り替えます。
室内が明るいときのディスプレイの明るさ	**BRIGHT HI-**	**10**	**8〜15**	室内が明るいときのディスプレイの明るさを設定します。
室内が暗いときのディスプレイの明るさ	**BRIGHT LO-**	**4**	**1〜8**	室内が暗いときのディスプレイの明るさを設定します。
ルームコード	**ROOM-**	**B _ _ _ –**	**B _ _ _ –、C _ _ – _、 D _ _ – –、E _ – _ _、 F _ – _ –、G _ – – _、 H _ – – –、I – _ _ _、 J – _ _ –、K – _ – _、 L – _ – –、M – – _ _、 N – – _ –、O – – – _**	本機能は日本では使用しません。
タッチセンサー	**TOUCH PAD-**	**ON**	**ON、OFF**	タッチセンサーの有効(オン)または無効(オフ)を切り替えます。
30分スタンバイタイマー	**AUTO OFF-**	**YES**	**YES、NO**	30分スタンバイタイマーの有効(YES)または無効(NO)を切り替えます。9 ページの「Wave® music system IIIの電源操作」をご覧ください。
システムのリセット	**RESET ALL-**	**NO**	**NO、YES**	Wave® music system IIIを工場出荷時の設定に戻します。

システム設定を変更するには

1. [**Alarm Setup (Menu)**]ボタンを、「**-SETUP MENU-**」が表示されるまで長押しします。

2. [**Tune/MP3 >**] ボタンを何回か押して、変更するメニュー項目を表示します。

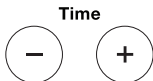
3. [**Time –**] ボタンまたは [**Time +**] ボタンを押して、値またはオプションを変更します。

4. セットアップメニューを終了するには、[**Alarm Setup (Menu)**]ボタンを押します。10秒間ボタン操作を行わないと、セットアップメニューが自動的に終了します。

スヌーズ時間を調整する

スヌーズ機能が有効のときに、次にアラーム音が鳴るまでの時間を設定します。

1. [**Alarm Setup (Menu)**] ボタンを、「**-SETUP MENU-**」が表示されるまで長押しします。

2. [**Tune/MP3 >**]ボタンを1回押すと、「**SNOOZE- 10 MIN**」と表示されます。

3. [**Time –**] ボタンまたは [**Time +**] ボタンを押して、スヌーズ時間を 10～60 分の間 (10分間隔) で変更します。

4. セットアップメニューを終了するには、[**Alarm Setup (Menu)**] ボタンを押します。10秒間ボタン操作を行わないと、セットアップメニューが自動的に終了します。

RDS 情報表示のオン／オフを切り替える

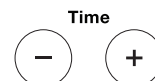
本機能は日本では使用しません。

連続再生ソースを選択する

Wave® music system IIIには、連続再生機能があります。CDの再生が終了した後に、続いて自動的に再生を開始するソースを設定できます。

1. [**Alarm Setup (Menu)**] ボタンを、「**-SETUP MENU-**」が表示されるまで長押しします。

2. [**Tune/MP3 >**]ボタンを3回押すと、「**CONT PLAY-** 」と表示されます。

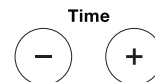
3. [**Time –**] ボタンまたは [**Time +**] ボタンを押して、**AUX**、**FM**、**AM**、または**NO**のいずれかを選択します。

4. セットアップメニューを終了するには、[**Alarm Setup (Menu)**] ボタンを押します。10 秒間ボタン操作を行わないと、セットアップメニューが自動的に終了します。

時刻表示形式を変更する

時刻表示形式は、12 時間表示 (AM/PM) または 24 時間表示のどちらかを選択できます。

1. [**Alarm Setup (Menu)**]ボタンを、「**-SETUP MENU-**」が表示されるまで長押しします。

2. [**Tune/MP3 >**]ボタンを4回押すと、「**TIME-** 」と表示されます。

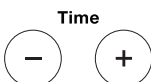
3. [**Time –**] ボタンまたは [**Time +**] ボタンを押して、[**12 HOUR**] または [**24 HOUR**] を選択します。

4. セットアップメニューを終了するには、[**Alarm Setup (Menu)**] ボタンを押します。10 秒間ボタン操作を行わないと、セットアップメニューが自動的に終了します。

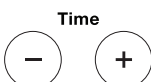
ディスプレイの明るさを調整する

ディスプレイは、室内が明るいときは明るく表示され、暗いときは自動的に暗くなります。これは、室内が明るいときは表示がはっきり見えるようにし、また暗いときは煩わしさを感じないように表示の明るさを落とすための機能です。明るい状態と暗い状態の明るさは個別に設定できます。

1. [**Alarm Setup (Menu)**] ボタンを、「**-SETUP MENU-**」が表示されるまで長押しします。

2. [**Tune/MP3 >**]ボタンを5回押すと、「**BRIGHT HI-**」と表示されます。

3. [**Time –**] ボタンまたは [**Time +**] ボタンを押して、室内が明るいときの明るさを8～15の間で設定します。

4. [**Tune/MP3 >**]ボタンを1回押すと、「**BRIGHT LO-**」と表示されます。

5. [**Time –**] ボタンまたは [**Time +**] ボタンを押して、室内が暗いときの明るさを1～8の間で設定します。

6. セットアップメニューを終了するには、[**Alarm Setup (Menu)**] ボタンを押します。10 秒間ボタン操作を行わないと、セットアップメニューが自動的に終了します。

ルームコードを設定する

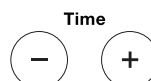
本機能は日本では使用しません。

タッチセンサーのオン／オフを切り替える

タッチセンサーを使用しない場合は、オフにすることができます。

1. [**Alarm Setup (Menu)**]ボタンを、「**-SETUP MENU-**」が表示されるまで長押しします。

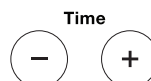
2. [**Tune/MP3 >**]ボタンを8回押すと、「**TOUCH PAD-** 」と表示されます。

3. [**Time –**] ボタンまたは [**Time +**] ボタンを押して、[**OFF**]または[**ON**]を選択します。

4. セットアップメニューを終了するには、[**Alarm Setup (Menu)**] ボタンを押します。10 秒間ボタン操作を行わないと、セットアップメニューが自動的に終了します。

スタンバイタイマーの設定を変更する

1. [**Alarm Setup (Menu)**]ボタンを、「**-SETUP MENU-**」が表示されるまで長押しします。

2. [**Tune/MP3 >**]ボタンを9回押すと、「**AUTO OFF-**」と表示されます。

3. [**Time –**] ボタンまたは [**Time +**] ボタンを押して、[NO]または[YES]を選択します。

4. セットアップメニューを終了するには、[**Alarm Setup (Menu)**] ボタンを押します。10 秒間ボタン操作を行わないと、セットアップメニューが自動的に終了します。

システムの設定をリセットする

必要な場合は、Wave® music system IIIの設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

注記：システムの設定をリセットすると、ラジオ放送局のプリセット登録がすべて消去されます。

1. [**Alarm Setup (Menu)**]ボタンを、「**-SETUP MENU-**」が表示されるまで長押しします。

2. [**Tune/MP3 >**]ボタンを10回押すと、「**RESET ALL- NO**」と表示されます。

3. [**Time –**]ボタンまたは[**Time +**]ボタンを押して、[**RESET ALL- NO**]を[**RESET ALL-YES**]に変更します。

4. ディスプレイに「**PRESS PRESET 3 TO CONFIRM**」と表示されたら、[**Presets 3**]ボタンを押します。設定がリセットされると、「**RESET COMPLETE**」と表示されます。

5. セットアップメニューを終了するには、[**Alarm Setup (Menu)**]ボタンを押します。10秒間ボタン操作を行わないと、セットアップメニューが自動的に終了します。

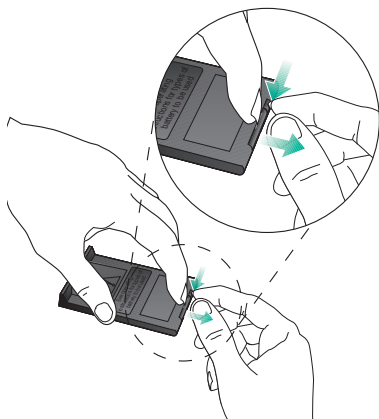
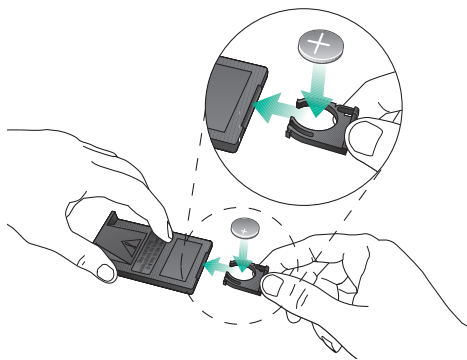
故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
本体が機能しない	• 電源コードがしっかりとコンセントに差し込まれているか確認します。 • 電源コードをコンセントから抜き、10 秒間待ってからもう一度差し込みます。この操作により、システムがリセットされます。 • システム上部のタッチセンサーに手を触れて、システムの電源がオンになっていることを確認します (8 ページ)。
音が出ない	• 音量を上げます。 • [**Mute**]ボタンを押します。 • CDを取り出して、もう一度差し込みます。 • **AUX IN**に接続されている外部機器を聴く場合は、[**AUX**]ボタンを押します。 • 外部機器の電源がオンになっていて、音量が上がっていることを確認します。 • システムからヘッドホンを抜きます(ヘッドホンが差し込まれていると、スピーカーの音はミュートされます)。
音質が悪い	• AMラジオやFMラジオを聴いている場合は、トークラジオモードのオン／オフを切り替えてみてください (10 ページ)。 • 外部機器を聴いている場合は、適切なステレオ音声ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。
リモコンが正しく機能しないことがある、またはまったく機能しない	• リモコンを本体に近付けて操作します。 • リモコンの電池が正しい方向(＋極が上)で装着されていることを確認します。 • リモコンの電池を交換します。 • 強い室内灯光や太陽光が本体に直射して、リモコン受信の障害になっていないか、またはリモコン先端のレンズにほこりや汚れが付いていないか確認します。 • 本体を別の場所に置いて操作を試してみてください。
AMラジオの受信状態が悪い	• 本体の向きを変えながら、内蔵アンテナの受信状態が良くなる位置を探します。 • テレビ、冷蔵庫、ハロゲンランプ、調光器付きスイッチなど、電気ノイズを発生する電気製品から本体を離してください。 • 受信状態が改善されない場合、AMラジオの電波が弱いことが考えられます。
FMラジオの受信状態が悪い	• 電源コードをできるだけまっすぐに伸ばします。電源コードはFMアンテナとして機能します。6 ページの「電源の接続」をご覧ください。 • 16 ページの「外部アンテナを使用する」をご覧ください。
CDが再生されない	• CDソースが選択されていることを確認し、選択されていない場合は[**CD**]ボタンを押します。ディスプレイにCDアイコンが表示されます。 • CDのレーベル面を上にしてセットしたことを確認してください。 • ディスクの表面に汚れがないことを確認し、汚れている場合は表面に傷を付けないようにそっと拭き取ります。 • オーディオCDをセットしていることを確認してください。DVDは再生できません。 • 別のディスクをお試しください。

リモコンの電池を交換する

警告：リモコンの電池は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。リモコンの電池を誤って取り扱うと、火災を起こしたり､化学物質で皮膚を侵される危険性があります。電池を充電したり、分解したり、100℃を超える熱を与えたり、焼却したりしないでください。使用済みの電池は速やかに処分してください。交換する場合は、正しい種類と型番の電池を使用してください。

注意：電池を誤って交換した場合、破裂の危険性があります。3V リチウムボタン電池の CR2032 または DL2032 に交換してください。

1. ボタン側を下にしてリモコンを平らな場所に置きます。
2. 電池カバーの留め具を図のように指で押さえます。電池カバーをスライドして開きます。

3. 使用済みの電池を取り出し、＋極の表示を上に向けて新しい電池を装着します。

4. 電池カバーを静かに閉じます。自動的に留め具がかかります。

お手入れについて

Wave® music system IIIの外装は柔らかい布でから拭きしてください。必要な場合は、毛先が柔らかいブラシ付きのノズルを使用し、掃除機の弱いパワーでフロントパネルを清掃することもできます。液体洗剤、溶剤、化学薬品、アルコール、アンモニア、研磨剤などは使用しないでください。

注意：本体の開口部に液体が入らないようにしてください。液体をこぼした場合はすぐに電源コードを抜き、ボーズ株式会社サービスセンターにご連絡の上、修理をお受けください。サービスセンターの連絡先については、日本語オーナーズガイドの「お問い合わせ先」をご覧ください。

ユーザーサポート

リモコン紛失時の再購入につきましては、ボーズ株式会社ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。また、トラブル解決のための詳細情報についても、同じくユーザーサポートセンターにお問い合わせください。ユーザーサポートセンターの連絡先については、日本語オーナーズガイドの「お問い合わせ先」をご覧ください。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先
ボーズ株式会社　サービスセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−023
PHS､IP電話からは､Tel 03-5489-1124へおかけください。
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9
唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先
ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−021
PHS､IP電話からは､Tel 03-5489-0955へおかけください。

保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。

仕様

AC電源定格
100V〜 50/60Hz 60W

外形寸法
368 (W) x 219 (D) x 106 (H) mm

質量
3.9 kg

数字

A

B

C

D

F

L

M

R

T

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

USA Customer Support

Bose Corporation, The Mountain
Framingham, MA 01701-9168
1-800-367-4008

USA Customer Service

Bose Corporation, 1 New York Ave.
Framingham, MA 01701-9168
1-508-766-1900

Canada Customer Support

Bose Ltd., 1-35 East Beaver Creek Rd.
Richmond Hill, Ontario L4B 1B3
1-800-465-2673

European Office

Bose Products B.V., Nijverheidstraat 8
1135 GE Edam, Nederland
TEL 0299-390111 FAX 0299-390114

Australia

Bose Pty Limited,
Unit 3, 2 Holker Street,
Newington NSW, 2127
TEL +61 (0)2 8737 9999 FAX +61 (0)2 8737 9924

Deutschland

Postfach 1468
48504 Nordhorn
TEL 0130-2673555 FAX 05921-724250

France

Bose S.A.S.
12, rue de Témara
78100 Saint Germain en Laye
TEL 0969 320 546 FAX 01 30 61 33 11
www.Bose.fr

Japan

Bose K.K.
Sumitomo Fudosan Shibura Garden Tower 5F
16-17 Nampeidai-cho
Shibuya-ku, Tokyo 150-0036 Japan
TEL 0570-080-021 FAX 03-5489-1041
www.Bose.co.jp

Nederland

Bose B.V., Nijverheidstraat 8
1135 GE Edam, Nederland
TEL 0299-390111 FAX 0299-390114

United Kingdom

Freepost EX 151
Exeter EX1 1ZY
TEL 0800 614 293 FAX 0870 240 2013

World Wide Web

www.Bose.com